

横浜自然観察の森 学校・体験学習 利用説明会

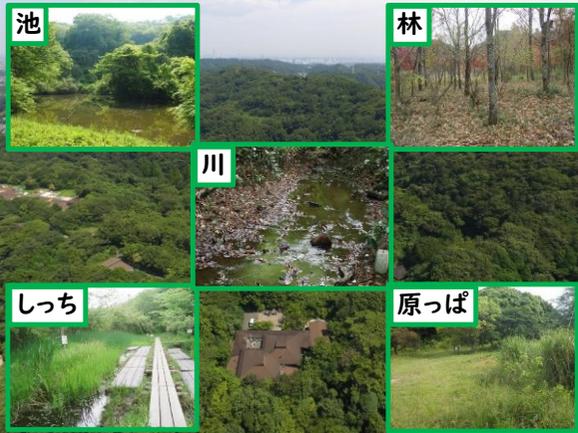
指定管理者:  公益財団法人
日本野鳥の会

1

横浜自然観察の森

- 自然観察センター
- 4つの道(トレイル)
- 広さ44.4ヘクタール(444km²)
=横浜スタジアム 13個分
=東京ドーム 約9.5個分
- 1986年 開園
- 全国に10ヶ所ある自然観察の森の
第1号
- 横浜市の公共施設
横浜市環境創造局が管轄
- 2020年より当会が指定管理者として
運営開始

2



池 林 川 しっち 原っぱ 原っぱ

3

生きもの

- 哺乳類 9種
- 鳥 158種
- は虫類 12種 ●両生類7種
- 魚 8種
- 昆虫 約2,450種
- 植物 約910種

3,500種類以上を確認



4

活動している人

- 公益財団法人日本野鳥の会
スタッフ7名が常駐
生きものの調査、
自然環境の整備、
教育普及活動を実施
- 横浜自然観察の森友の会ボランティア
1988年 10月 設立
会員数 約140名
年間のべ約3,000人が活動
雑木林の管理、野草の保護、
鳥類の調査、イベント実施など
多岐にわたり活動中




5

With コロナ時代への対応

マスクの着用



常時着用できるような準備を

多数での利用にならない工夫



- ・散策の方法
1つのトレイルへの集中を避ける
- ・センター内は一度に**25人**短時間で

距離の確保



- ・生徒同士、他来園者との距離確保を
狭いトレイルでは道をゆずりあう
- ・食事の利用場所
トイレに近い広場は・・・
アキアカネの丘
モンキチョウの広場

6

With コロナ時代への対応

手指の消毒、トイレで石鹸手洗い



- センター内のトイレにはハンドソープ、センター入り口にはアルコール消毒液を設置
- 野外トイレ

**ハンドソープ、消毒液なし
学校でご用意ください**

体調不良の方へのご対応

- センター併設の別棟へご案内
- 救急車の手配等のサポート

- センター内のトイレにはハンドソープ、センター入り口にはアルコール消毒液を設置
- 野外トイレ

**ハンドソープ、消毒液なし
学校でご用意ください**

当日が悪天候の場合

- 延期か中止をおすすめ
- センター利用は一度に**25名**まで
研修室も**25名**定員
- 天気の急変に備え、上郷・森の家空きスペースの確保のご検討を

7

施設のご紹介

センター開館時間 9:00-16:30 月曜休館 月曜祝日の場合は翌日休館
野外利用時間 日の出から日の入りまで




- ①センター内トイレ
♂個1・他4 ♀個4 多目的1
- ②センター近く野外トイレ
♂個2・他3 ♀個3 多目的1
- ③長倉口野外トイレ
♂1・♀1・多目的1

8

当日ご利用までのながれ

- ①現地の事前確認
事前確認の日時を必ずお電話 (TEL:045-894-7474) ください。
ご利用予定のトレイルの情報を提供します。
- ②予約カード・利用計画書を提出
「予約カード」または「利用計画書」を (FAX:045-894-8892) にてご提出ください。提出期限は、体験学習当日の**3週間前**。
感染対策の一つとして、園内を利用する他校、他団体との混乱を避けるためにも、**必ずご提出ください**。
休館日、野外の利用のみの場合もお送りください。
*遠足の場合、森の家駐車場の利用が可能か必ず確認してください。
- ③体験学習当日
当日の野外の状況 (悪天候による影響、ハチの巣の場所、落枝の危険等) をお伝えするので、必ずセンターにお立ち寄りください。
団体受付簿に人数等をご記入の上、利用内容の変更があればお知らせください。

9

レクチャー対応 (無料)

レンジャーによる15分レクチャー
*感染状況により対応は要相談

レクチャーの動画送付
*ギガファイル便使用




項目	内容
① 諸感覚を使った観察方法について	諸感覚(目、耳、鼻、手)を使った生き物の観察の方法について
② 季節のみどころ	季節ごとに観察できる生きもの(鳥・昆虫・植物等)について
③ 注意する生き物	注意が必要な生き物の説明 (ヘビやハチに会った時の対処方法。ヌルデの見分け方等)

10

レンジャーと森を歩こう プログラム(無料)

横浜市みどりアップ事業

独自のプログラムを提供
プログラムメニューの中からお選びいただけます。またご要望を取り入れてご提供することも可能です。

①自然観察の方法を体験する
「生きものをたくさん発見しよう」
ねらい:自然観察の方法について知り、生きものはそれぞれ色、形、大きさ、声等が違うことを理解する

②季節の変化、自然環境と生きものの関わりを知る
「モノノミカタ」
ねらい:季節によって生きものがその姿や利用する場を変えていることに気づく等

オリジナルワークシートで学びをサポート
プログラムに合わせてワークシートを活用します。生き物観察や記録はもちろん、得られた結果から考察まで促し深い学びを提供します。
オンラインでも対応します
先生方との打ち合わせ、事前学習等はオンラインでも可能です。

募集校5校(横浜市内小学校のみ) 各期に1校

①5/10-6/14 ②6/15-7/15 ③9/1-10/18 ④10/19-11/30 ⑤12/11-2/15

11

有料プログラム

- ・時間:2時間程度の対応
- ・費用:1人600円(税込み)
- ・内容:ワークシート等を用いた季節の生きもののご案内等

*感染状況・日程・人数等によりご対応できない場合もございます。



12

活動にお役立ち! 資料のご紹介



園内ガイドマップは、希望人数配布可能。



鳥、樹木の観察をフォローするシートや各トレイルの観察シート等



「にぎわいの森いきものガイド」
HPからPDFファイルがダウンロード可能

13

野外で守っていただきたい フィールドマナー



火・コンロは使わない



ポイ捨てはしない



静かさを乱さない



ペットはつないで



ゴミはうちまで



生きものを
持ち帰らない
持ちこまない



ボール遊びはしない



道からはずれない



自転車はゆっくりと

14

危険な生きもの

ハチ



<万が一ハチに刺されたら>
傷口を水で洗って、毒を洗い出してください。
「ポイズンリムーバー(毒吸引器)」「虫刺され薬ステロイドホルモン含有の抗ヒスタミン軟膏」を常備してあります。
症状が重い(めまい・嘔吐、発疹等)場合には**救急車をセンターで手配**いたします。

<出会ったら>
・近くにいるときは、じっとしてやり過ごす
近くに來ても手で追いつかず、動かずに遠ざかるのを待つか、後ずさりしながらゆっくりとその場を離れてください。
・巣を見つけた時は近づかない
巣に気づいたら姿勢をできるだけ低くして、ゆっくりその場から離れてください。またハチは攻撃態勢に入ると「カチカチ」と威嚇音を出します。その場合は立ち止まらず、静かに離れてください。

月曜休館・閉館(16:30以降)の場合は、上郷・森の家045-895-5151
京浜警備 045-461-0105へご連絡を。

15

危険な生きもの

ヘビ



・観察の森にはマムシやヤマカガシといった毒をもっている種類もいます。
・ヘビに出会った際はつかまえたり、つつくようなことは絶対にせず、離れたところから観察するようにしてください。
・毒を持ったヘビにかまれた場合は、**センターで救急車を手配**いたします。

ウルシのなかま



・ヌルデは、毒性は低いが稀にかぶれることがあります。本数はたくさんあります。

16

その他

地震発生時

活動中大きな地震が発生した際は、周りに建屋や樹木などがない安全な場所(モンキチョウの広場、アキアカネの丘など)に避難をしてください。
ただし、ノギクの広場に関しては、崖崩れの可能性があるため、直ちに崖から離れた場所に避難してください。

夜間の体験活動

利用時間は原則日の出から日の入り
夜間利用の際は別途ご相談ください。
夜間に活動(ホタル観察やナイトハイク等)する場合、森の中には基本的に外灯がありません。
16:30で自然観察センターは閉館となりますので、トイレは野外トイレ(自動照明あり)をご利用ください。また、夜間は自然観察センターは無人となりますのでご了承をお願いします。

17

春～夏 生きもののご紹介



ウグイス



タチツボスミレ



ハンミョウ



アオスジアゲハ

18



19



20